

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	子どもの広場 四日市		公表日		2025年 1月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	0	・利用人数に応じて場所を変更するなどしている ・パーテーション等で区切って使用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1	・必要な人数を配置し、状況に応じて配置を変更している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	5	・賃貸のため工事はできていないが、ゲートをつけたり、角ばっている部分には保護材を貼っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0	・日々清掃をし、清潔な空間、環境を心掛けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	・別部屋への移動やパーテーションでの仕切りなど状況に応じて対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	0	・毎日の朝礼や会議で都度、情報を共有し、意見をすり合わせまとめることで業務改善につなげている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・危機管理委員会を中心に評価表を取りまとめ、毎日の朝礼や会議で把握している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	・職員会議の定期開催や朝礼に留まらず必要に応じて、SV,OJTを行うことで、個々の職員が抱える課題の透明化につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	3	・Google口コミなどの意見や評価を受け業務改善につなげている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	・毎月e-ラーニング等の研修を受けている・本部より研修案内をだし希望を募る等適切に研修の機会が確保されている・研修後には報告をする機会も確保されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	・子どもに合った活動を決めている ・運営会議等で推敲して作成している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	・保護者からの聞き取りやサービス担当者会議などをもとに計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	・日々の様子や成長を職員同士話すことで共有している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0	・記録にはさみ、いつでも見れる状況になっており、記録にも計画に沿ってどうだったか評価している ・回覧や職員会議、朝礼などで周知される	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1	・日々の行動観察を中心としたインフォーマルなアセスメントが中心である ・一般的なアセスメント表に加えて、個々に応じたアセスメントを行い、一人一人の特性に合った内容で療育を提示している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	・個々に合わせた具体的な支援内容が設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	・全スタッフが関わられるよう工夫している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0	・室内・屋外の活動の幅を持たせるため、過去の活動を記録するなどしている ・活動計画の検討を会議で行っている ・季節に合わせたプログラムを考えている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	・個々に合わせた計画を作成し支援が行われている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	・朝礼が難しい場合は、前日や直前にグループラインで共有するなどして連携している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	・終了後ではなく、朝礼にて共有されている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	・記録と計画に則った評価を行っている ・職員間で声を掛け合いながら記録に残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・必要があれば随時行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	1	・児童管等および現場にて子どもの状況を確認しており、理解した者が参加している ・会議の前に情報共有を行っており、管理者や主任と必要に応じて関係ができていく職員が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	2	・学校と連携して行う体制がある ・サービス担当者会議やモニタリングなどを必要に応じて行っており、他事業所等と情報共有することで、有事の際には連携している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	2	・必要があれば都度サービス担当者会議などを行っている ・ケースバイケースではあるが、なるべく当事業所のみ利用に限らず他事業所との併用を進めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	3	・行動の変化、課題の見直しがあった場合、保護者を介してやりとりをしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	-	-		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	-	-		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	-	-		
	31	(31は、事業所のみ回答)	12	2	・自立支援協議会に参加している	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	5	・児童館へ行き、交流している	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0	・事業所、家庭、園など、それぞれの状況について伝え合い共通理解を深めている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	・チラシを配布したり、インスタグラムで情報提供している	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	・利用開始前、契約時に説明を行っている		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	・モニタリングや面談を通して聞き取らせて頂いている		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	0	・説明と見直しを面談を通じて行っている		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0	・引き渡し時やLINE等にて要望があれば助言をしている		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	13	・現在その予定はない ・依頼があれば検討していきたい ・保護者も同席する小集団の療育の際に保護者同士コミュニケーションをとれる機会がある	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	・迅速に柔軟な対応と具体的な対策を心掛けている ・すぐに上司に相談し対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・Instagramにて日々の様子を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・シュレッターを使用など十分留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・マカトン等の補助手段の活用や、絵カード、顔写真などを使い分かりやすくしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	14	・地域の行事などに参加している ・今後も行っていきたい	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	2	・大地震発生時の対応マニュアルが新たに策定され周知されている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0	・毎月避難訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15	0	・入所時や年1回聞き取りを行っている ・利用時の服薬に関してはその都度依頼票を提出してもらい確認し、情報共有を徹底している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	2	・契約時に確認し、必要に応じて書類を提出してもらい対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	14		・3月末には作成予定
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	14		・3月末には作成予定 ・作成後は保護者への周知に力を入れたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	・内容を共有し、本部へ報告、危機管理委員会を中心に取りまとめている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・事業所アンケートや研修に参加し、適切な対応を学ぶ機会を得ている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	1	・利用前に説明をし、了解を得たうえで支援計画に記載している		